

ごみ減量化に向けたワークショップ かわら版（開催結果報告）南一本木・いずみ巣子ニュータウン・北一本木自治会

平成29年7月26日（水）18:30～



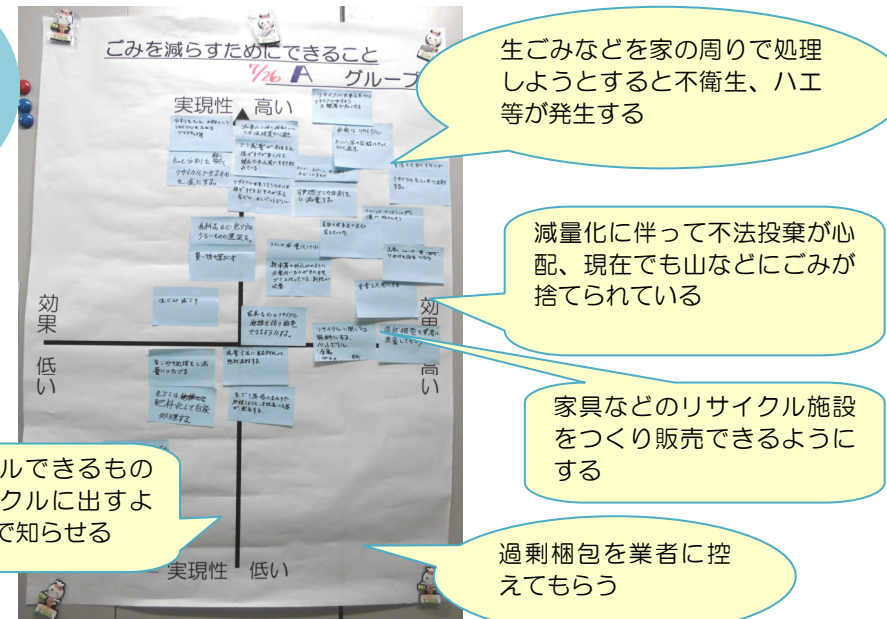
滝沢市では、ごみの処理に関する環境及び資源の問題、ごみの処理に係る費用の問題など、今後「ごみの減量」が必ずや必要となり、市民一丸となって取り組むべきテーマと考え、各地域の皆さんにご協力を頂きワークショップ（意見交換会）を開催しました。

今回のワークショップは、ごみの減量について、色々なアイデアを出していただきながら、皆様で楽しく意見交換していただく場所・機会として、白熱した意見交換が交わされました。

グループ発表の準備中



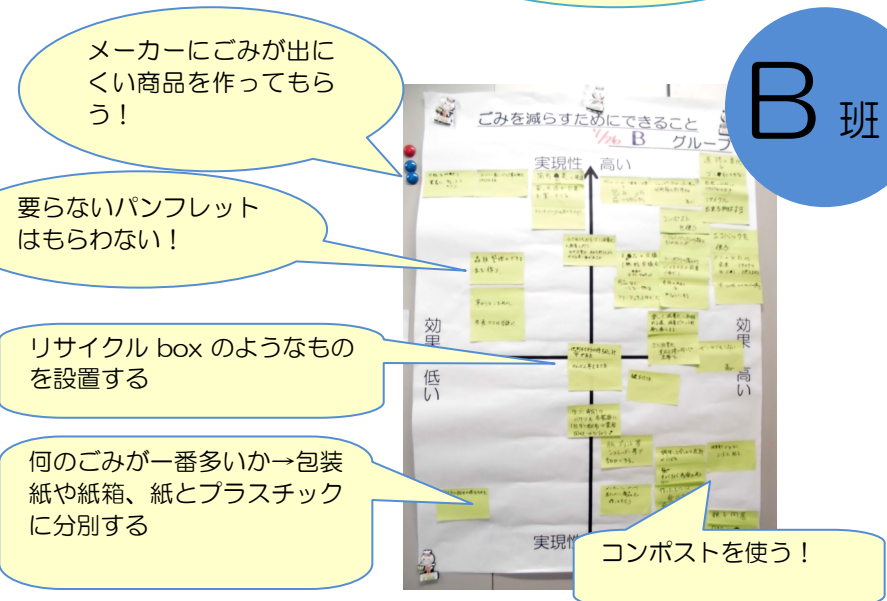
A 班



グループ発表の準備中



B 班



- 可燃ごみの分別をし、減量する
- リサイクルできるもの（ペットボトル、金属、ガラス、紙）については無料にする
- 食料品など包装の少ないものの選定をする
- 生ごみを減らし、減量につなげる
- 新聞の折り込みチラシのように必要ないものがそのままゴミになっており、制限が必要
- 家具などのリサイクル施設を作り販売できるようにする
- 減量方法としての有料化は絶対反対する
- 食料を大切にする
- 分別を細かくして、リサイクルできるものを金にする

- 道路を美化（清掃）し、ごみを捨てさせない
- 容器を分別してリサイクルに出す
- 小さなうちからごみ減量化への教育を行う（なぜ必要か、それを行うとどのような良いことがあるか）
- マイバッグ（エコバッグ）を使う
- ショッピングセンターの分別箱を利用する
- 楽しく減量化に取り組めるよう、減量ポイント制などを導入する
- 極力残飯を出さないよう、食べきれぬ量を作る
- 生ごみ専用のバケツを各家庭に配布し、業者が回収して肥料化をする

※上記は、提案された意見を基本的に原文記載としておりますが、同内容意見は、抜粋・組み合わせなどしております。今回は、A・B班の2グループでした。



A 班の発表です



B 班が発表しました



発表に集中して耳を傾けています



講評をいただきました

お忙しい中「ワークショップ」へご参加頂きました皆さま、大変有難うございました。
色々な意見、沢山のアイデアが出されました。今後、市民皆さまと、市役所の「協働」の大きなテーマになる「家庭ごみ減量化」にとって、推進への指針となる「ひとつひとつ」と考えております。今後とも、宜しくお願いいたします。

滝沢市役所
市民環境部 環境課